

今年度の下末吉小学校の取り組みを振り返り、その内容を次年度のより良い学校づくりに反映させるための学校評価のアンケートを実施いたしました。結果の概要及び分析については次の通りとなります。

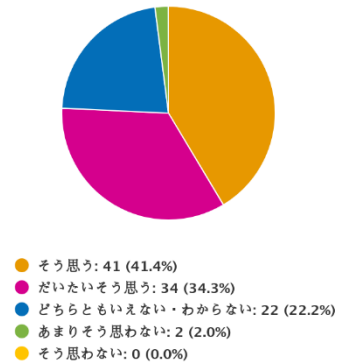
回答状況：回答数 99/185 人 回答率 53.5%

Q1. お子さんの学年を教えてください（在籍するお子さんの学年をすべて選んでください）

* 回答状況については省略

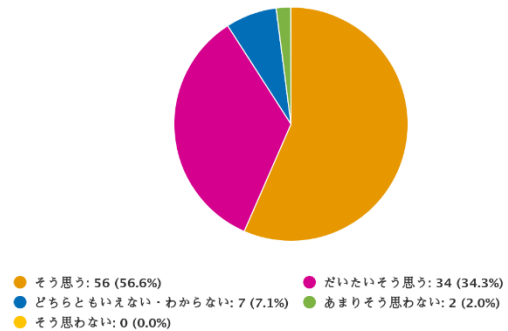
Q2. 〈確かな学力の育成について〉 タブレットやロイロノートスクールを活用したり、教科分担制（算数専科）などにより多くの教職員と関わったりすることで、お子様の学ぶ意欲が高まっていると思いますか。

回答	回答数
そう思う	41
だいたいそう思う	34
どちらともいえない・わからない	22
あまりそう思わない	2
そう思わない	0



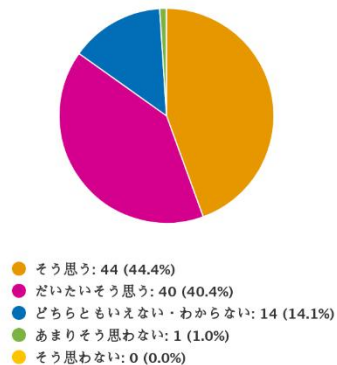
Q3. 〈豊かな心の育成について〉 お子様はなかよしグループでのたてわり活動等を通して、様々な学年の子とふれ合い、自分のよさに気づいたり、友達のよさを見つけたりしていますか。

回答	回答数
そう思う	56
だいたいそう思う	34
どちらともいえない・わからない	7
あまりそう思わない	2
そう思わない	0



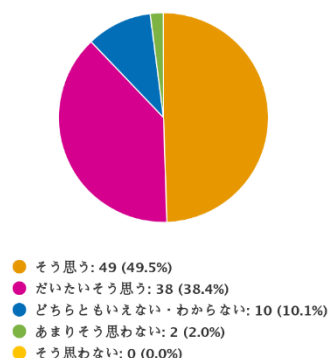
Q4. 〈健やかな体の育成について〉 お子様は外遊びや体育の授業、外部機関の出前事業（走り方教室）を通して、体を動かすことを楽しみ、その中で体力向上が進んでいますか。

回答	回答数
そう思う	44
だいたいそう思う	40
どちらともいえない・わからない	14
あまりそう思わない	1
そう思わない	0



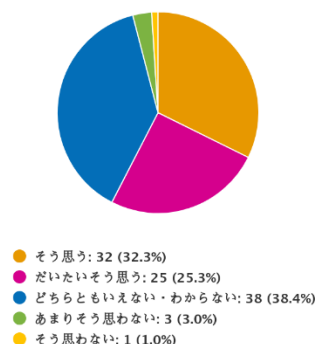
Q5.〈地域との関わりについて〉 盆踊り等の地域行事に参加したり、地域のお店や施設、近隣の園との交流を積極的に行ったりすることを通して、地域とのつながりを深めたり、広げたりしていますか。

回答	回答数
そう思う	49
だいたいそう思う	38
どちらともいえない・わからない	10
あまりそう思わない	2
そう思わない	0



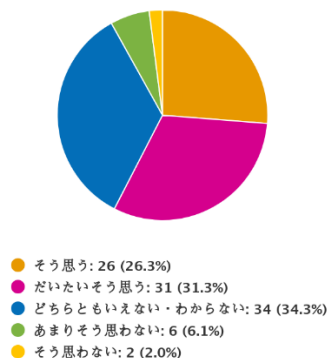
Q6.〈いじめへの対応について〉 下末吉小学校では、いじめの早期発見と解決に向けて、子どもの相談にいつでもだれでも対応できていると思いますか。

回答	回答数
そう思う	32
だいたいそう思う	25
どちらともいえない・わからない	38
あまりそう思わない	3
そう思わない	1



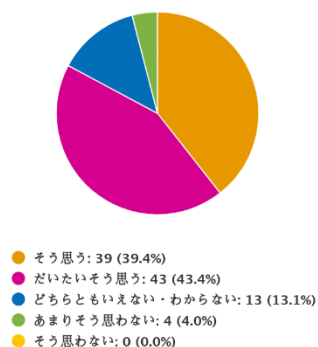
Q7.〈教職員の組織について〉 お子様には、担任以外にも、困ったときに相談できる教職員がいますか。

回答	回答数
そう思う	26
だいたいそう思う	31
どちらともいえない・わからない	34
あまりそう思わない	6
そう思わない	2



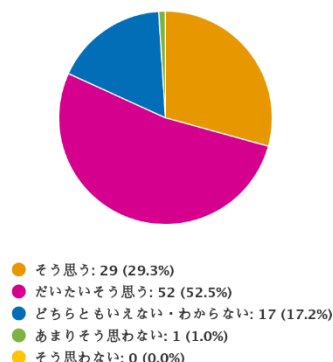
Q8.〈特別支援教育の体制について〉 下末吉小学校では、ステップアップルーム（特別支援教室）やスクールカウンセラーなど、特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が整っていると感じますか。

回答	回答数
そう思う	39
だいたいそう思う	43
どちらともいえない・わからない	13
あまりそう思わない	4
そう思わない	0



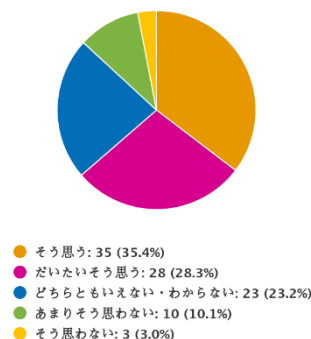
Q9.〈児童指導の体制について〉下末吉小学校には、子どもが安心して学校生活を送れるような児童指導の体制が整っていると感じますか。

回答	回答数
そう思う	29
だいたいそう思う	52
どちらともいえない・わからない	17
あまりそう思わない	1
そう思わない	0



Q10.〈読書活動の推進について〉学校図書館の整備や図書館だよりの発行など、下末吉小学校の読書活動推進に向けての取組みにより、お子様が本を読む機会は増えていると感じますか。

回答	回答数
そう思う	35
だいたいそう思う	28
どちらともいえない・わからない	23
あまりそう思わない	10
そう思わない	3



Q11.その他にご意見・ご感想等ありましたら、ご記入ください。

ご意見の概要及び今後の方針については、説明会にてお話いたします。

アンケート内容に関する分析 (○：成果 △：課題)

○確かな学力の育成について (Q2)「そう思う」と答えた 80%が、読書活動の推進について (Q10) について肯定的に回答している。

△確かな学力の育成について (Q2)「だいたいそう思う」と答えた 2/3 が、教職員の組織について (Q7) について肯定的に回答している。一方で 1/3 は学力の育成と教職員との関係性が関連しているとは考えていない。

○豊かな心の育成 (Q3) について充実していると感じている割合が 90%を越えている

○豊かな心の育成について (Q3)「そう思う」と答えた 90%以上が、健やかな体の育成について (Q4) 肯定的に回答している。

○健やかな体の育成について (Q4)「そう思う」と答えた 3/4 が、確かな学力について (Q2) 肯定的に回答している。

△健やかな体の育成について (Q4)「だいたいそう思う」と答えた半数以上が、いじめへの対応について (Q6)「どちらともいえない・わからない」と回答しており、これらの 2 項目が関連しているとは考えていない。

○地域との関わりについて (Q5) について充実していると感じている割合が 90%弱である。

○地域との関わりについて (Q5)「そう思う」と答えた 2/3 が、健やかな体の育成について (Q4) 肯定的に回答している。

- 地域との関わりについて(Q5)「だいたいそう思う」と答えた半数以上が、教職員の組織について(Q7)について肯定的に回答している。
- 地域との関わりについて(Q5)「そう思う」と答えた3/4が、児童指導の体制について(Q9)肯定的に回答している。
- いじめへの対応について(Q6)「そう思う」と答えた半数が、教職員の組織について(Q7)について「そう思う」と肯定的に回答している。
- △教職員の組織について(Q7)「わからない・どちらでもない」と答えた半数が、確かな学力の育成について(Q2)について「わからない・どちらでもない」に回答している。
- △教職員の組織について(Q7)「わからない・どちらでもない」と答えた80%弱が、健やかな体の育成について(Q4)肯定的に回答している。
- 教職員の組織について(Q7)「だいたいそう思う」と答えた2/3が、読書活動の推進について(Q10)肯定的に回答している。
- 特別支援教育の体制(Q8)が整っていると感じている割合が80%を越えている。
- 特別支援の体制について(Q8)「そう思う」と答えた3/4が、いじめへの対応について(Q6)肯定的と回答している。
- △特別支援の体制について(Q8)「だいたいそう思う」と答えた半数ほどが、教職員の組織について(Q7)「どちらともいえない・わからない」と回答しており、これらの2項目が関連しているとは考えていない。
- △児童指導の体制(Q9)が整っていると感じている割合が80%を越えている。しかしながら「十分に」と感じている割合は少なめである。
- 児童指導の体制について(Q9)「だいたいそう思う」と答えた80%弱が、教職員の組織について(Q4)肯定的に回答している。

アンケート内容に関する考察(○：成果 △：課題)

- 学習意欲と読書活動には関連性がみられる。
- 情緒的な成長の支援と積極的に体を動かすことには関連性がみられる。
- 積極的に体を動かすことと学習意欲には関連性がみられる。
- 地域との関わりと積極的に体を動かすことや教職員の関わりについて関連性がみられる。
- いじめへの対応と教職員の体制について関連性がみられる。
- 教職員組織の関わりと読書活動の充実には関連性がみられる。
- 特別支援教育の体制といじめへの対応には関連性がみられる。
- 児童指導体制と教職員組織の充実には関連性がみられる。
- △積極的に体を動かすことといじめへの対応の関連性は薄い。
- △教職員組織が学力や体力向上、特別支援教育体制の充実にどのように関わっているのかが明確でない。
- △児童指導の体制は一定程度整っていると評価されているが、改善の余地がある。

アンケートの結果から、学習意欲と体力向上、情緒的・文化的活動のつながりが強いと考えられます。また、地域や職員との親和的な関わりが、児童の心身の成長と安心に関わっていることが考えられます。一方で教職員の関わりが見えにくく、児童の学校生活にどのように関わっているのか分からないという結果も出ています。

同時期に行った児童向けのアンケートでは、次のような傾向があることが分かりました。

〈学習面〉（○：成果 △：課題）

○80%以上の児童が、興味関心をもって授業に取り組んでいる。

△自分の考えを進んで発表する意識が低めである。

〈他者への関わりについて〉

○80%以上の児童が、他の学年と楽しく活動している。

○80%以上の児童が、係や当番、委員会活動などにしっかり取り組んでいると感じている。

△あいさつについては、高学年の方がよくあいさつしていて、低学年になるほど頑張りたいという意識が高くなる傾向がある。

〈健康・生活習慣面〉

△30%ほどの児童が、早寝、早起き、朝ご飯を摂ることを積極的に意識していない。

以上の内容を踏まえて、児童・保護者・地域・教職員の関係性を充実させることで、人と関わる力を伸ばし、学習への興味関心と合わせて、学んだことを積極的に発信したいという意識を伸ばしていきたいと考えています。また、子どもたちの健やかな成長について、情報発信・意見交換を進め、児童の自律の基礎を養っていきたいと思います。